6 意見のまとめ

6 意見のまとめ

本章では、3 章. 実態調査、4 章. 職員研修、5 章. 町民インタビューで出た意見及びアイデアのまとめについて記述する。

6 -1 ヒアリング調査および町民インタビューで得た意見のまとめ

3 章. 実態調査における町民へのヒアリング調査、4 章. 町民インタビューを通して職員の気づき、5 章. 町民インタビューで得た意見を、「資源・魅力だと感じていること」（表 24)、「課題だと感じていること・こうなったらいいと思うこと」（表 25）に分けて一覧としてまとめた。

表 24. 資源・魅力だと感じていること

テーマ		意見 （資源・魅力だと感じていること）	町民 ヒアリング	職員	町民インタ ビュー
環境	自然	・夏にエアコンが必要ないため環境に優しい。 ・開発の手があまり行き届かなかったというメリットを生かして、中頓別を目的に来る人を増やしたい。 ・水が美味しい。 ・災害がほとんどない。	●		
		・風景がきれい。 ・資源が多い。		●	
		・中頓別町の木は町外の木より 2 割程度サイズが大きい。それほど優れた自然環境。 ・自然に恵まれている。			●
	楽しみ	・山登りや釣りなど、町内で楽しめることがたくさんある。中頓別町での楽しみをみんなで味わえる町にしたい。	●		
		・1 千万年前と 1 億年前の化石が一緒に採れる場所がある。中頓別は 1 億のスパンの中で遊べる。 ・夏は、気軽に川釣りが楽しめる。 ・砂金堀りが楽しめる。 ・川や森の距離感がいい。見ているだけで癒される。 ・渓流の宝石と言われるほどきれいな川がある。 ・1年中、野鳥と出会える。 ・町内の農家さんの牧草地を眺めながら、カヌーに乗れる。 ・冬は、バックカントリーに適している。			●

しごと	働き方	・自ら環境をつくり、柔軟な働き方を実現しながら豊かな人生を送っている人が魅力的。 ・ライフワークが仕事の一部となる働き方が魅力的。 ・時代によってビジネスを変えることができる生き方が魅力的。 ・町外にも目を向け、中頓別町での就業を長い目で考えている働き方が魅力的。 ・人間の生活を守るための狩猟がしごとになっている。		●	
		・休みと仕事の区別がないほど、好きなことを仕事にできる。 ・新しい事業を始める上で失敗を受け入れる環境が整っていた。 ・新しい仕事を始めやすい。			●
生活環境（住まい、インフラ）	買い物	・生協や amazon で買い物ができるため、暮らしの中で困っていることはない。	●		
	U ターン I ターン	・住んでみると不便はない。	●		
		・寛容性があり、受け入れるまちである。 ・相手を尊重し、ライフスタイルを押し付けない。 ・転入した家族でも相談できる場があることが魅力。		●	
		・色々な人が「遊びにおいで、ご飯を食べにおいで」と誘ってくれるため、町にすぐに馴染めた。 ・みんなフレンドリーで温かい。			●
	情報発信	・活動を町の広報で紹介してくれることが嬉しい。 ・活動をまちが支援してくれていることを感じる。 ・町役場から発信される情報が役立つ。	●		
		・町の情報が入ってくる。			●
	資源活用	・保健センター調理室で活動できることが助かっている。	●		
	その他	・役場でリユースをやっているのがとてもいい。	●		
		・少ない人口だからこそ良い。		●	
保健医療福祉	福祉	・保健師さんたちが親切で、様々なアドバイスをくれる。 ・グループホームを町の中心地に作ることに賛成。	●		
		・保健師さんの対応が丁寧で、福祉が充実している。			●
	医療	・検診や予防接種など、町の補助が手厚い。	●		
		・子どもの医療費無料がとても助かっている。			●
安全安心	つながり	・誰が住んでいるか知っている。 ・隣近所同士が気にし合っている。 ・町のためにやりたいと思うことに対してみんなが協力的。 ・町民が参加するイベントの参加費が安い。 ・移住者が気軽に参加できる集いがある。 ・黄金湯のおかげで町にすぐに馴染むことができた。 ・おばあちゃんたちのニットの会や茶道の会が魅力的。 ・消防団に入っていると、つながりが生まれやすい。	●		

		・人間関係がいい。トラブルを見たことがない。			
		・顔見知りの関係。町に誰が住んでいるかわかるのは安心。			●
子育て・教育	学校教育	・中学生たちのハワイ研修は、とても魅力的。 ・放課後の居場所として「放課後子どもプラン」という取り組みがあることが非常に助かる。	●		
		・中頓別の子どもたちはいきいきしている。 ・子どもたちが異文化や英語に興味があり、好奇心が旺盛。 ・ハワイ研修での経験が自信につながっている。			●
	幼児教育	・森のこども園がとても有意義である。 ・子ども園での英語教育など、幼児教育が充実している。	●		
	子育て	・ひよっこクラブなどがあることで、子育てしやすい。	●		
		・中頓別は人が優しく育てやすい。		●	
		・地域のみんなが子育てに関わってくれるため、子育てしやすい。 ・新しいお母さんを迎え入れてくれる。 ・中頓別の子どもたちは、とても素直で優しい。			●

表 25. 課題だと感じていること、こうなったらいいと思うこと

テーマ		意見 （課題だと感じていること、 こうなったらいいと思うこと）	町民 ヒアリング	職員	町民インタビュー
環境	自然	・観光のために自然を破壊することはやめてほしい。豊かな自然環境を守り、お金にはならなくても、真摯に取り組み、それに共感してくれる人を増やしたい。 ・ピンネシリは、安全面・事故の対策が脆弱。 ・大自然があるのに、活動が制限されている。	●		
しごと	働き方	・若い人たちが働ける場所がたくさんある町になってほしい。 ・職種の選択肢が増えるといい。 ・事業継承が大きな課題。 ・商業に関心のある人材と困っている商業主のマッチングができるといい。	●		
		・新しい仕事を始める上で失敗できる環境が整っていたことが大きい。			●
	林業	・子どもに林業が産業と認識されていない。 ・森は細やかな手入れが必要。 ・林業の担い手不足を高校生に向けて発信し続けることが必要。		●	
		・子どもたちに林業が第一次産業と認識されていない。 ・地場の資源を地場で加工して消費することが理想。			●
	そのほか	・町の補助金申請が煩雑で断念した。	●		
観光	観光地	・スキー場と温泉がうまく活用されていない。	●		
	特産品	・外に発信できるような特産品や技術があるといい。	●		
	つながり	・将来的にはアウトドア体験で稼ぎたい。 ・宿泊施設や飲食店など、町の他の人たちと連携したい。			●
	場づくり	・若者が集まれる場所がない。			●
	その他	・ライドシェアやシェアスペースのように選択肢を増やすことで中頓別の魅力を高めたい。			●
生活環境（住まい、インフラ）	買い物	・商店が充実してほしい。 ・買い物に困っている。日用品が身近で購入できるといい。	●		
		・町内でオムツが買えないことが不便。			●
	U ターン I ターン	・外から来た人が迎えられやすい環境を維持したい。 ・子どもたちが「戻ってきたい」と思える町にしたい。	●		
		・お試し住宅を増やしてはどうか。			●
	インフラ	・公園が遠く、子どもたちが安全に外で遊べる場所が少ない。		●	
		・町中に光ネット通信の整備が進むといい。 ・ネット環境が整備されることで働き方の選択肢が増える。			●

	つながり	・若い人たちが、もっとつながり、協力することで、若い人たちが集まれる町にしたい。 ・情報共有はできているが、町民一人ひとりの想いを共有できていない。	●		
	住まい	・建てたい場所に家を建てることができない。	●		
	空き家	・高齢化で空き家が増えており、寂しさを感じる。	●		
	交通	・車が主要な移動手段なので、老後の交通事情が心配。 ・生活で一番困っていることは、交通機関。 ・ライドシェアは遅くまで飲酒しないことを強いるため、ドライバーに申し訳なくて使えない。	●		
		・公共交通機関が減っていくのが寂しい。 ・ライドシェアは、若い人が使いづらいのが現状。若い人に使ってもらえるような仕組みが必要。 ・ライドシェアが根付くためには事業化できるかどうか。 ・ライドシェアのドライバーを若い世代に引き継ぎたい。 ・ライドシェアやシェアスペースのように選択肢を増やすことで中頓別の魅力を高めたい。 ・誰もがドライバーとして、運転できないが移動したい人を乗せられるようなまちにしたい。			●
	その他	・新しいことにチャレンジする人が増えてほしい。 ・無農薬で作っていた「ふれあい農園」がなくなったことが非常に残念。 ・漬物工場を再開したい。 ・若い世代が集まれるお店や施設が増えてほしい。 ・町の中心部にある空き店舗となったスーパーを活用したい。 ・中頓別農業高等学校について、酪農の研修センターや犬の終活センターなどに活用したい。	●		
保健医療福祉	医療	・病院が遠い。 ・小児科が充実してほしい。	●		
		・小児科が遠い。 ・医療体制が不安。			●
	福祉	・グループホームを町の中心地に作ることに賛成。	●		
		・障害者福祉の理解が進んでいない。			●
安全安心	つながり	・周りも隣近所同士が気にし合っている。お金では買えない「裕福さ」が中頓別にはある。町のためにやりたいと思うことは、みんなが力を貸してくれる。 ・異性との出会いが少なく、結婚問題を考える人が多い。 ・みんなで大切なことを話し合う機会がほしい。 ・女性は町外に出てしまい、町には独身の男性が多く残る。	●		
		・誰もが「おかげさま」で暮らせる町になればいい。 ・若い人たちにまちづくりに関わってほしい。 ・地域コミュニティが、世代を横断して交流できるといい。			●
	イベント	・町でイベントをやっても人が集まらない。 ・小さな子どもから高齢者まで一緒に楽しめる機会がもっとあるといい。	●		

子育て・教育	図書活動	・読み聞かせボランティアは会員の人数が少ないので、なかなか思ったように活動ができない。 ・本のある施設が充実していない。	●		
		・図書スペースに、カフェや子どもが遊べる空間があるといい。			●
	学校教育	・高校進学の選択肢が少ない。	●		
		・家から通える高校がなくなったら、子どもの数がさらに減ることを危惧している。			●
	場づくり	・土日休日に使用できる交流スペースがあると、働いているお母さんたちが集まりやすい。 ・子どもたちが集まって遊べる場所が少ない。雨や雪が降ると遊べる室内が少ない。もっと安全で遊べる場所が必要。	●		
		・塾や習い事ができる環境が少ない。		●	
		・中学生が勉強する部屋がないため、勉強スペースが必要。 ・塾がない。学力を伸ばす教育を考えてほしい。 ・子どもを育てる横の連携が薄い。 ・親子で料理を楽しめる機会があるといい。			●
	子育て	・こども園とひよっこクラブの両立の必要性。		●	
	学力向上	・小学校に上がるまでの教育は充実しているが、小学生以降の学力向上が悩ましい。塾など学力を見てくれる場所があるといい。	●		

6-2 まとめ

本章では、3 章. ヒアリング調査、4 章. 職員研修、5 章. 町民インタビューで出た意見及びアイデアのまとめた。計画策定に伴うテーマ別の主な課題を以下に記載する。

■計画策定に伴うテーマの主な課題

□環境

・豊かな自然環境を守ることに共感してくれる人を増やしたい。

・ピンネシリは、安全面・事故の対策が脆弱。

・大自然があるのに、活動が制限されている。

□しごと（酪農・林業・商工）

・若い人たちが働ける場所がたくさんある町になってほしい。

・事業継承が大きな課題。

・商業に関心のある人材と困っている商業主のマッチングができるといい。

□観光

・スキー場や温泉がうまく活用されていない。

・宿泊施設や飲食店など、町の人たちと連携したい。

・若者が集まれるコミュニティスペースがない。

□生活環境（住まい、インフラ）

・買い物に困っている。日用品が身近で購入できるといい。

・公園が遠く、子どもたちが安全に外で遊べる場所が少ない。

・車が主要な移動手段なので、老後の交通事情が心配。

□保健医療福祉

・病院が遠い。

・小児科が充実してほしい。

・医療体制が不安。

□安心安全

・若い人たちにまちづくりに関わってほしい。

・地域コミュニティが、世代を横断して交流できるといい。

□子育て・教育

・図書スペースに、カフェや子どもが遊べる空間があるといい。

・高校進学の選択肢が少ない。

・土日休日に使用できる交流スペースがあると、働いているお母さんたちが集まりやすい。